

丹波市人権・同和教育協議会

第54号

人権ネットワーク たんば

発行 丹波市人権・同和教育協議会
 事務局 〒669-3309
 丹波市柏原町柏原443
 TEL・FAX 0795-72-2770
 e-mail jinken@tambashi-doukyou.jp

中学生の主張 人権作文最優秀作品

丹波市人権・同和教育協議会（市同教）では、市内の中学生から人権作文を募集し、最優秀作品を市同教広報紙「人権ネットワークたんば」に掲載しています。

本年度も、市内全ての中学校から各学年1人が選ばれ、計21人の作品応募がありました。作文には、性的指向及び性自認（性同一性）を理由とする偏見や差別、障害を理由とする偏見や差別、同和問題、子

どもの人権、高齢者の人権、戦争や平和、SDGsなど多様な人権課題が取り上げられ、中学生の人権意識の広がりと人権教育の高まりを感じました。選考の結果、下記の作品が最優秀賞に選ばされました。作者の思いが一人でも多くの市民の皆様の心に届くことを願って作品を紹介させていただきます。

人を「軽蔑」する言葉

「人権を尊重しよう」よく耳にする言葉です。その元となるのは「他人を尊敬すること」と私は解釈しています。

では、その逆、つまり尊重の逆とは何でしよう。辞書で調べると、こう書いてあります。

した……。「軽蔑」相手を自分よりも劣ったものとみなしがちにすること。

先日、陸上の大会で出会った友人と話をしている時に、友人が「あの人って太っているくせに足が速いよね。」と言いました。あの人とは陸上で活躍している方です。確かに、友人がもらした言葉の一部に、私はとても違和感を覚えたのです。それは「太っているくせに」という言葉です。いろいろな場面で耳にする「〇〇のくせに」という言葉、学

校内でもよく聞くのは、例えではありますが、「女のくせに」の言葉です。「勉強ができるなくせに」「家が貧乏なくせに」というのも聞いたことがあります。テレビやインターネットでも「くせに」という言葉が溢れています。「韓国人のくせに」「障害者のくせに」など、人はなぜ「くせに」という言葉を口にするのでしょうか。

それは、他人を軽蔑することで優越感、プライドを保つていたいという考え方からではないでしょうか。心の中で「自分より劣る人間」というのを勝手に作り上げて、その人たちが自分と同じことをしたり、自分ができないようなことをしたりするのが許せないのです。何という浅はかな考え方なのでしょう。戦争をはじめとするすべての争いが発生する原因はここにあるようにさえ思えます。いい意味で、自分は自分、他人は他人でいいのではないでしようか。他人を軽蔑することは自分の価値さえ落としているような気がします。

先ほどの友人とは、あとになつて「くせに」という言葉について話しました。友人は「じゃあ、他に言い方ある？」と尋ねてきたのですが、私もすぐに答えを出すことができませんでした。少しの間考えていると、友人が突然ひらめいたかのように言いました。「あの人は足が速い」でいいんだ」と。私も同意しました。「太っているくせに」という言葉がなくても、考へていることは間違いない伝わるのです。「〇〇のくせに」は元から余計なのです。「Aさんは、女のくせに生徒会長に立候補した」ではなく、「Aさんは、生徒会長に立候補した」でいいのです。「Bさんは家が貧乏なくせに新しい靴を履いてきた」ではなく、「Bさんは新しい靴を履いてきた」でいいのです。結局は、偏見なのだと思います。偏見から「〇〇のくせに」という思いが生まれ、それが軽蔑となり、やがて差別となつて争いに転じていくかもしません。誰にでも特徴はあります。良い特徴も、悪い特徴もあります。その特徴を認めて、もしくは、気付き合つていくことが、身近な場面で人権を考える第一歩となると私は思っています。

あなたとまちとフェイス to フェイス
中兵庫信用金庫
NAKASHIN

理事長 足立 厚郎

本店・丹波本部 丹波市氷上町成松226-1
 三田本部 三田市けやき台1-4-3
 Tel.(079)569-7150㈹
 ホームページ <https://www.nakashin.co.jp/>

JA丹波ひかみは
地産地消に取り組み
地域の「食」と「農」を応援します!

JA丹波ひかみ本店
JA丹波ひかみ本店販売内
希望される方あるまちづくり
TEL(0795)82-0170 FAX(0795)82-3658
https://ja-tanbahikami.or.jp/

株式会社吉住工務店

代表取締役社長 吉住正基

本社：丹波市春日町野村2465
 TEL：0795-74-0712

こだま館 / 丹波展示場
 西宮営業所 / 西宮展示場
 三田展示場



丹波新聞は下記の店舗で
最新号を販売しております。

丹波市
 • ファミリーマート柏原下小倉店
 • ひかみ四季菜館(犬岡)
 • 道の駅 丹波おばあちゃんの里
 • セブンイレブン丹波市辺原店

丹波篠山市
 • ファミリーマート篠山丹南店
 • 岡本病院内 売店
 • セブンイレブン篠山黒岡店

丹波新聞
 TEL.0795-72-0530 FAX.0795-72-1956
 ホームページ <http://www.tanba-newspaper.jp>

ご購読は
コチラから

市同教 理事 現地研修会

2022年10月30日(日)、市同教理事研修を行いました。行先は、奈良県御所市の「水平社博物館」と水平社宣言文の起草者・西光万吉さんの生家「西光寺」です。14人が参加しました。

「水平社博物館」は、2003年にリニューアルオープンし、2階には常設展示室、特別展示室、ビデオコーナーなどがあります。館内ガイドに導かれ、1時間ほど説明を聴きながら見学しました。全国水平社創立に取り組んだ人たちのことや、当時の時代背景を詳しく知ることができました。

続いて、博物館の向かいにある「西光寺」で住職の清原隆宣さんによる講話です。「水平社がでてから100年ですが、100年経っても人がつくった差別がなくなりません」「人がつくった間違えた物差しではなく、自然の物差しで測ることが大切です」「人として生まれたことに感謝し、自他の命を大切にしてほしい」「水平社宣言にある『人間を尊敬する』と



は『人を、あるがままに、そのままに認め合う』ということです」などと時々ユーモアを交えながら熱く語っていただきました。

行楽シーズンの好天の中、いろいろなお話により、生命の尊さを改めて感じた一日でした。参加された皆さん、お疲れさまでした。



第73回 全国人権・同和教育研究大会 — 奈良県 —

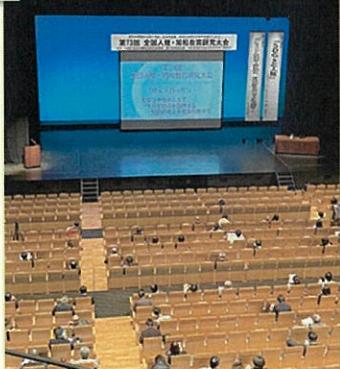
2022年11月26日(土)～27日(日)の2日間、奈良県奈良市をメイン会場として行われ、全国から延べ12,000人が参加しました。大会テーマは「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう」、地元スローガンは「むなつき坂をこえて、すべての人を包摂する社会の構築を奈良の地から」です。主催者あいさつでは、「本年は水平社創立100周年の節目の年、今こそ『人の世に熱あれ、人間に光あれ』と呼びかけた水平社宣言の思想を受け継ぎ、すべての人の尊厳と平等を実現する人権教育のさらなる前進を期し、しっかりとあゆみを重ねてまいりましょう。」と呼びかけがありました。



全体会場「なら100年会館」では、1日目の午前、オープニングの後に地元特別報告があ

りました。「奈良県の同和教育・人権教育の歩みと展望」というテーマのもと、これまでの奈良県の人権教育・同和教育を振り返り、現在の人権課題の解決に教育が果たす役割について、鼎談(ていだん)※3人による話し合い)が行われました。その後は、特別分科会として1日目の午後に2講座、2日目の午前に2講座が開かれました。

今回の大会は「新しい様式によるコンパクトで持続可能な大会」がコンセプトの一つで、参加人数の制限等がありましたが、実り多い2日間となりました。



丹(まごころ)の里 人権のつどい

2022年12月4日(日)午後、春日文化ホールで開催されました。この「人権のつどい」は「広げよう！深めよう！人権文化の息づく共生社会」をテーマとし、市民一人ひとりが人権について関心を持ち、人権に関する正しい知識を身につけ、日常生活において人権尊重の意識が高まるなどをめざして行われています。主催は丹波市をはじめとする関係団体です。

開会行事の後、中学生人権作文の表彰と朗読、人権活動事例発表、トーク＆コンサートが繰り広げられました。受付などの大会運営とともに市同教が担当した人権活動事例発表では、一般社団法人 丹波・タンボフ交流協会 代表理事兼会長の河津雅人さんから活動報告をしていただきました。また、尼崎市出身のシンガーソングライター 悠以さんによるトー

ク＆コンサートでは、「自分らしく生きる」の演題で講演と歌を披露していただきました。ホールの玄関・ロビーでは、性の多様性などをテーマとした人権啓発のパネル展示も行われました。



市同教所属の事前参加申込者と一般の皆さんを合わせて約280名の参加となりました。また、市同教理事の皆さんには、受付をはじめ会場整理、駐車場誘導の係を担っていただきました。

編集後記

全国水平社創立大会から、まもなく101周年です。西光万吉さんや創立に取り組んだ当時の青年たちは、100年後の日本をどのように思い描いていたのでしょうか。部族差別をはじめとするさまざまな人権課題に目を向け、水平社宣言の理念をよりどころにして現代も続く差別を解消する歩みを更に進めていきましょう。

今年度も人権・同和教育の推進に関わられたすべての皆さんに感謝とお礼を申し上げます。

[丹波市人権・同和教育協議会\(tambashi-doukyou.jp\)](http://tambashi-doukyou.jp)



長年の知識と確かな技術と
自由な発想で
新しい業務スタイルを提案します。

防犯カメラ
監視システム
監査システム
監査サポート
安心と安全のために

オフィス全体のセキュリティ対策
○情報漏えい ○不正アクセス
○なりすまし ○迷惑メールブロック等
○データ改ざん等ブロック
UTM(統合脅威管理アプライアンス)
Unified Threat Management

日本システム

日本旅行

株式会社 ユニットシステム
https://www.unitsystem.jp
E-mail : info@unitsystem.jp

日本旅/世界の旅
あなたの旅を応援します!

予約
受け付中

日本旅行

関西旅行社
TEL (0795) 72-0325 FAX (0795) 72-2416
E-mail : info@kansairyo.co.jp

JTB
LOOK JTB
エースJTB